

進路だより 11・12月号

三刀屋高校進路指導部
平成26年12月19日発行



3年生 センターまであとわずか。がんばれ！みんな応援しています！！

大学入試センター試験が 来年1月17日(土)・18日(日)に行われます。残すところあと一ヶ月になりました。毎週末の模試、夜遅くあるいは朝早くからの受験勉強と体力的にも辛い日々が続きますが、体調管理に気を配り、焦らずじっくり取り組んで欲しいと思います。今週末は、島根大学でマーク模試を受験する3年生もいると思います。会場の雰囲気を知っておくことも受験においては重要な要素となります。本番を想定して、模試を受験してきて欲しいと思います。



2年生 11月8日(土) 課題研究中間発表

2年生は、本年度4月より進路希望系統別のグループに分かれ、各グループでテーマを設定し、課題研究を進めてきました。研究を進めるためのアドバイザーとして、岐阜県立可児高等学校の浦崎先生、県商工労働部の矢野様、雲南市産業振興部の渡部様、雲南市健康福祉部の上村様、雲南市政策企画部の須山様、NPO法人おっちラボの糸原様、島根大学キャリアセンターの本田先生、学生の吉田様、山岡様に来校いただきました。各グループの生徒に質問をしてもらうことで、問題意識がどこにあるのかをあらためて考えさせたり、生徒からの質問などに答えていただき、各グループの学びを深めてきました。その各グループの課題研究の中間発表を11月8日(土)体育館で行いました。ポスターセッション形式で、発表するグループと聴くグループに分かれ、発表会を行いました。聴くグループの生徒は、発表後に質問をしたり、どのようにすればもっとよくなるかなどの建設的なコメントや感想などを付箋に書いて、発表グループに渡しました。以下、2年生の課題研究テーマ一覧と当日の生徒の様子です。

2年生 課題研究テーマ一覧	
雲南市に美容室を増やすためにはどうすれば良いか	電気自動車の普及率について
自然を生かした結婚式をするためにはどうしたら良いか	都市部の防災と警備
生活習慣病を予防するために、食習慣をどう改善すべきか	島根の過疎化について
インフレとデフレについて考える	雲南市の中高生の本離れについて
東京の保育園の課題と雲南の保育園の課題とその改善策	面白い情報提示の仕方
安心して老後生活が送れる環境を作るには	裁判員制度を身近にする為にはどうすれば良いか
なぜ自動車は180km/hも出るように作られているのか	雲南市で大型ショッピングモールを成功させるには
ゲームで地方を活性化できるか	島根県の産業を活性化させる方法
スポーツメーカーの原点と営業戦略はどのように行われるか	島根県の学力低下 ～中1ギャップによる子供の勉強に対する不安感をのぞくには～
地方と都会の商品販売の違い	島根県の医療人材不足について
スポーツプレイヤーのパフォーマンスを高めるには。	情報・工学による地域の活性化はできるのか？
なぜ世界で英語はよく使われるのか	地域性にあった住宅
どのようにして利益を出して、もうけるのか	雲南の林業の現状を調べる
子どもの年齢別の教育と発達の違い	地域の特色ある学校
地域で実現できる食の可能性	理学療法士にできること
東京のお菓子和島根のお菓子をコラボレーションさせてみよう!	高齢者が健康で、安心して暮らせる社会を実現するために理学療法士ができること
都会と地方美容院の違い	島根に医療従事者を増やすには
島根県での子供の看護の理想的な姿	薬の飲み合わせ
もし島根の高校の偏差値が上がったら	島根県の魅力を全国に発信するために必要なゆるキャラの要素



2年生保護者のみなさまへ

★科目選択の時期がやってきました★

12月11日(木)の進路検討会を受けて、保護者面談を12月19日(金)より行います。3年生に向けての科目選択や進路について、ご家庭でお話いただく機会にしてください。よろしくお願いいたします。

1年生 11月8日(土) 授業「大学」

11月8日(土)に、島根大学の学生に30名程度来てもらい、「授業『大学』」を行いました。これは、高大接続事業の一環で、島根大学の学生が計画を立て、高校生を対象に授業を行うものです。今年度のテーマは「理想の自分探し講座」で、以下のような目的で行いました。

- ・目の前にある高校生活に目を向け、「今」を充実させていくことで将来の自分の可能性を広げる。
- ・大学生の「今」と「高校時代」の話から、今の高校生活が将来につながっていることを知る。
- ・大学生の話参考に、今後の高校生活のビジョンや大学についてのイメージを持つ。

実際の活動では、班ごとに分かれ、自己紹介やアイスブレイキングを行い、大学生に質問などをしました。その後、「卒業までに達成しておきたいこと、卒業までに成長しておきたいこと」などを書き上げます。これを踏まえ、「卒業までになりたい理想の自分像と比べて、今の自分はどのような状況なのか」について考えます。そして、「理想の自分と今の自分の差を埋めるために、何をやる必要があるのか」を考え、理想の自分像に近づくための目標を考えます。最後に、グループ内で発表を行いました。理想の自分について考えを深めたり、大学生の話から、これからの高校生活をどう過ごせばよいかを考えるきっかけとなりました。以下、当日の生徒の様子になります。



1年生 11月11日(火) アカデミックインターンシップ「広島大学訪問」

まず、大学の学部・学科の内容を詳細に説明して頂きました。施設や立地など学問を究めるのに適した環境であることを知り、大学のスケールの大きさに驚いた生徒も多くいたようです。特に1年生にとっては文系・理系の選択の参考になったのではないかと思います。その後、(三刀屋高校には現在存在しない) 学生食堂などで昼食をとり、学生の雰囲気を味わいました。

昼食後は、キャンパスツアーガイドによるキャンパス内見学と学生の方々にインタビューをさせていただきました。キャンパス内を歩きながら、丁寧に説明してもらい、高等学校との違いはもちろんのこと、専門学校・短大・単科大学などとの違いを実感したようです。また、キャンパスガイドの学生の方や本校卒業生などに大学での学びや大学生活について伺うことができ、大学に対する理解を深めることができました。こちらからのインタビューにも、丁寧に、そして適切に答えて頂くことができました。

生徒達は、広島大学での先進的な研究・学部学科の多種多様性・学生や先生方の多さ・キャンパスの広さ・施設の充実など、この訪問によって理解を深めることができました。この訪問をきっかけに、専門学校進学希望から、大学進学を目指したいと変化した生徒もいました。体験をする、広く情報収集すると見方や考え方、価値観、将来の見通しなどにも変化が起これると感じました。今後も、生徒たちの将来の見通しを持つことができるよう支援していきたいと思ひます。



1年生 12月17日(水) 「ライフプランニング授業」

ソニー生命保険株式会社が社会貢献活動として全国展開されている「ライフプランニング授業」を、福山支社の榎崎正博様、長谷川幸一様、高丸直也様に展開していただきました。大まかな流れは次の通りです。

(前半) 「仮想家族を設定し、その家族の将来設計を行う」

家族構成、子どもの教育プラン、住居の計画、働き方、毎月の出費、家族の夢プランなど

(後半) ライフプランニングの検証

- ・ライフプランニング収支結果の確認
- ・収支バランスの改善ポイントを確認
- ・ライフプランナーによるまとめと生徒へのメッセージ

1年生は冬休みから2月にかけて、自分のライフプランを考え、記述する予定です。それを考えてもらうのに先立ち、今回の授業をしていただきました。自分が30歳の時の家族をイメージし、人生における選択をどのようにしていくかシュミレーションを通して考えていきます。このシュミレーションや3名の講師の先生方の熱いメッセージを通して、計画を立てることの大切さ、夢を持つことの大切さ、工夫次第でやりたいことが実現できること、自分のライフプランを考えてみたい気持ち、保護者の方への感謝の気持ちなどを感じてくれたようです。



1年生保護者のみなさまへ

2年生に向けての文理の選択および科目の選択は、生徒本人の今後を変える大きな選択となります。お子さまと一緒に進路について考え、話し合う機会をおもちください。また保護者面談にて、お子さまの進路志望に向けた科目選択のアドバイスなどを12月12日の進路検討会の意見を踏まえてお伝えします。科目選択についてご不明な点などありましたら、この機会にご質問ください。今後、1年生は「産業社会と人間」の授業の中で自分の将来について述べる「ライフプラン」の作成に入ります。将来の方向についても話し合ってみてください。

12月7日(日) 「うんなん若者会議」について

本校の生徒希望者16名(1年生6名、2年生6名、3年生4名)が参加しました。この会議では、学校の枠や年齢の枠を超えて「(若い) 社会人×学生×高校生」が地域活性をするために何が出来るか議論し合います。今年は、アート・演劇・音楽 ② 食・場づくり ③ 教育 ④ 医療の4つのグループに分けられました。それぞれの分野で、事例発表したり、意見を出しあったり、アイデアをまとめたりして行きました。来年の春に行われる「桜まつり」でどのような取組ができるかということ考えたグループもあります。最後に各グループからまとめたものを発表しました。本校の生徒も、代表として発表してくれましたが、高校生の力強い言葉は、われわれ大人にとってみると頼もしく、未来を期待できるものでした。雲南市長もうんなん若者会議を評価しておられ、来年以降もやっていきたいとコメントされました。今後、特に、来年春のさくら祭りに向けての取組に、引き続き高校生の力を注いでもらいたいと思ひます。以下、当日の様子と参加生徒の感想です。



- ・初めて参加しましたが、気軽に楽しくディスカッションできて、とても良かったです。
- ・医療現場で働いている人と雲南の医療問題について話し合いができた良い経験になりました。
- ・話を共有し合ったり、いろいろな人たちの発表を聴くことで自分の考えにプラスアルファの視点が加わり、とても良いものになったと思ひます。“地域おこし”にとても関心が持てたし、今後何らかの力になればと思ひます。
- ・大人の人たちはコミュニケーション力があって、笑わせてくれたり、話をまとめてくれたり、よい雰囲気話し合いをすることができました。
- ・想像以上に楽しかったので、機会があれば、また参加したいと思ひます。
- ・思っていたよりも、はるかに楽しかった!! 自分の視野が広がった。
- ・チャンスを自分からたくさん掴み取り、自分で少しひねって考えたワークライフを送りたい。

最後に、2学期は1年生も2年生も様々な講演を聞いたり、多くの体験活動をしてきました。その中で気付かや経験を冬休みに振り返り、来年の目標や将来の夢を今一度考えてみてほしいと思ひます。また、それらを実現するために学校生活や家庭生活をどのように過ごせばよいか考えて、冬休みを過ごしてほしいと思ひます。